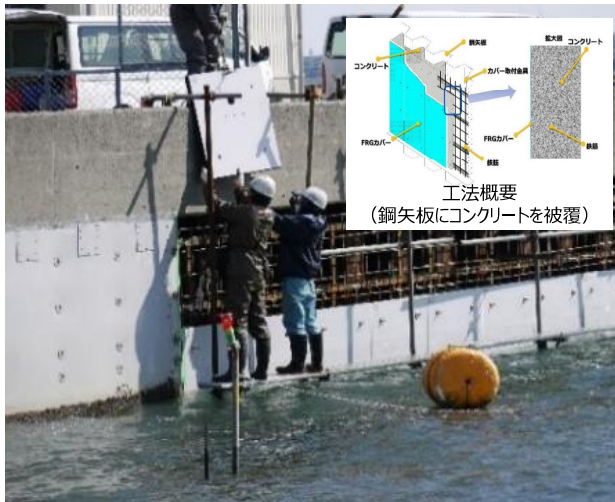




農林水産
大臣賞



施工状況(FRGカバー取付)



完成全景（補修完了）

水産基盤等
分野

FRGカバー工法（埋設型枠）による 漁港等水産基盤施設の補修・防食技術

取組概要

FRGカバー工法は、漁港等の防波堤・岸壁・護岸の既設の鋼矢板、鋼管構造またはコンクリート構造の前面にFRGカバー（FRP製高耐久性埋設型枠）を設置し、コンクリートを充填することでコンクリート被覆を構築する補修・防食工法で、この工法により、事後保全と予防保全が同時にでき、FRGカバーは軽量であるため大がかりな重機が必要なく、水中作業も軽減されることにより、従来工法に比べ現場作業期間の短縮やコスト低減につながる。

受賞理由

漁港の岸壁等を補修する際、FRGカバーを設置しコンクリート被覆を行うことで、従来工法に比べ、コストが同程度でありながら施工日数の短縮が図られ、かつ軽量で施工性も高いため、生産性向上及び昨今の工事現場の人手不足解消の一助となりうる優れた技術であることが評価された。

取組のポイント

- ①FRGカバーと現場打設したコンクリートを一体化させることによりコンクリート被覆工の耐久性が向上する。
- ②既存工法に比べ軽量で作業性がよく現場作業の短縮が可能となる。
- ③型枠材として十分な強度を有し、外側に支保工材が不要な為、供用中でも作業ができる。
- ④供用開始から長期間経過し中性化や塩分浸透によりコンクリートの剥離や欠損などが生じている岸壁等の前面に新たな増厚コンクリート壁を構築することができる。

受賞者について



受賞者

株式会社ダイソー（栗原 昇・戸部 健一・佐藤 正久）
一般社団法人漁港漁場新技術研究会 橋本 牧

コメント

この度は、「農林水産大臣賞」という栄えある賞を賜り、大変光栄に存じます。

FRGカバー工法は、漁港の岸壁、護岸をはじめ、沿岸の構造物に耐食性、遮塩性及び耐衝撃性に優れたコンクリート被覆を構築し、施設の長寿化をする工法で、従来工法に比べ、工期短縮、水中作業などの低減が図れます。今後とも、この工法により、全国津々浦々の漁港管理者等に、補修・防食対策としてお役立ていただくことを目指して努力して参ります。

団体概要

株式会社ダイソーは、1948年マンガン鉱石採掘事業で創業。防錆材事業、研磨材事業を経て1971年防食・補修事業を展開し、FRGカバー工法は全国で33件の実績があります。
一般社団法人 漁港漁場新技術研究会は、漁港・漁場の整備に関する新技術の研究・開発・活用・普及を目的に、民間企業が結集して1985年に設立。新型構造物の開発、新技術の導入支援、各種マニュアルの作成などを行っています。
「水産公共民間技術の確証審査評価事業」は2014年より開始し、延べ29件の工法や製品・システム等を審査・評価しています。

問い合わせ先

株式会社ダイソー 防食・補修・浮桟橋事業部
TEL 045-315-5639 FAX 045-315-5636
一般社団法人 漁港漁場新技術研究会
TEL 03-5294-6868 FAX 03-5259-6877